

10月28日の米国株式市場の下落について

新型コロナウイルスへの懸念再燃

2020年10月29日

新型コロナウイルスの感染再拡大による経済の停滞を懸念

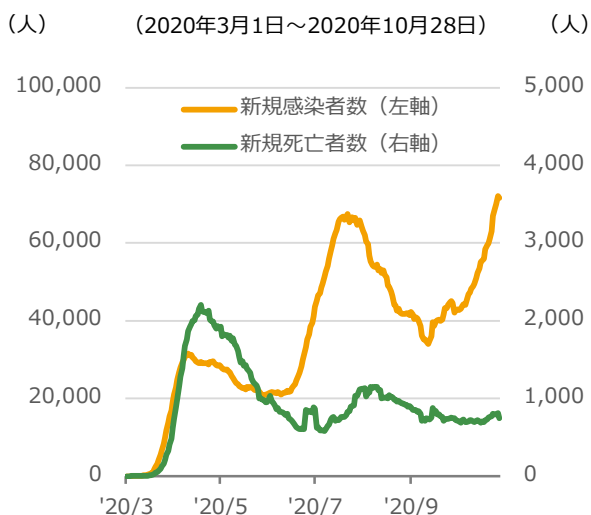
10月28日（現地、以下同様）の米国株式市場は、NYダウ、S&P500、ナスダック総合の主要3指数がそれぞれ3.43%、3.53%、3.73%下落しました。

欧米での新型コロナウイルス感染再拡大を受けて、経済活動の停滞が懸念されました。フランスでは、マクロン大統領が全国レベルで約1カ月の外出制限を実施すると発表しました。ドイツでは、メルケル首相が飲食店や娯楽施設などの営業禁止を発表しました。米国でも、一部自治体で夜間の外出制限や店舗の営業時間短縮などが発表されています。

また、トランプ政権と民主党との間で、大統領選挙前の成立に向けて追加経済対策が継続的に協議されていましたが、結局、合意に至らなかったことも、市場参加者の失望を招いたようです。

米国経済は、直近の小売売上高や住宅販売がコロナ前の水準を大きく上回るなど、大方の予想を上回る力強い回復をみせてきました。それを反映し最近の株価指数は最高値圏で推移していましたが、いったんは新型コロナウイルスの動向を見極める局面となりそうです。しかし、これまでの経験から経済活動を一定程度抑制すれば感染拡大も沈静化するとの見通しが立つことから、まだ十分な経験がなかった今春のような急激な株価の調整には至らないと考えられます。

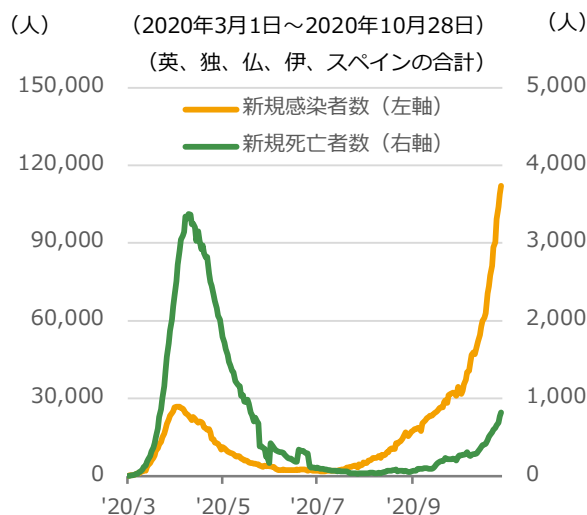
■ 米国：新規感染者・死亡者数



※いずれも7日移動平均

(出所) ブルームバーグ

■ 欧州主要国：新規感染者・死亡者数



※いずれも7日移動平均

(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。